



道の駅制定 30 周年に、群馬県「川場田園プラザ」が 2 連覇を達成！ 『じゃらん』 全国道の駅グランプリ 2023 発表

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が発行する旅行情報誌『じゃらん』は「道の駅」に関するアンケート調査を実施しました。ランキング結果とともに、上位 5 位にランクインした道の駅の概要を紹介します。なお、本内容は旅行情報サイト「じゃらんニュース」でも紹介しております。 <https://www.jalan.net/news/article/717179/>

■ 『じゃらん』全国道の駅グランプリ 2023 ※北海道、沖縄を除く

<利用者における満足度のランキング> (n=3,748)

利用経験：直近 3 年間の利用経験（複数回答） 満足：「満足した、良かった」施設（3 施設まで）

順位	2022年 順位	駅名	所在県名	利用経験者数 (人)	満足者数 (人)	満足率
1	1	道の駅川場田園プラザ	群馬県	130	115	88.5%
2	3	あ・ら・伊達な道の駅	宮城県	253	214	84.6%
3	—	道の駅富士川楽座	静岡県	218	170	78.0%
4	7	道の駅しちのへ	青森県	103	80	77.7%
5	—	道の駅米沢	山形県	157	121	77.1%
6	—	道の駅むなかた	福岡県	241	184	76.3%
7	—	道の駅とみうら枇杷倶楽部	千葉県	105	80	76.2%
8	2	道の駅上品の郷	宮城県	128	97	75.8%
9	4	道の駅伊東マリンタウン	静岡県	205	155	75.6%
10	—	道の駅保田小学校	千葉県	102	77	75.5%

今年は道の駅の制度がスタートして 30 周年を迎える記念すべき年。いまや全国に 1,204(※)ある道の駅の中から、『関東・東北じゃらん』『東海じゃらん』『関西・中国・四国じゃらん』『九州じゃらん』の掲載エリア（北海道、沖縄を除く 45 都府県）にある約 1,000 の道の駅を対象にアンケートを実施し、恒例の「満足度の高い道の駅」の全国ナンバー 1 が決定しました！2023 年度の 1 位に輝いたのは、群馬県「道の駅 川場田園プラザ」。見事 2022 年に続き 2 連覇となりました。こちらは、多彩な特産品にオリジナルグルメを取りそろえ、自然豊かで広大な敷地を誇る“1 日遊べる道の駅”としてリピーターも多い道の駅です。その他トップ 10 には、買い物もグルメも遊びも楽しめる個性豊かな道の駅がズラリと並ぶ結果に。近年では温泉などの付帯施設が充実するなど、旅の目的地としても人気が集まる道の駅。地域の魅力あふれる道の駅の止まらない進化に、今後も注目です。 ※2023 年 2 月 28 日現在の登録駅数（未開業を含む）。

【アンケート調査概要】インターネット調査／東北・関東・東海・関西・中国・四国・九州の 7 エリアを対象に『じゃらん』本誌企画等で、各エリアの道の駅ランキング満足度ベスト 10 にランクインした計 70 施設を選択肢として設定。過去 3 年以内に行ったことがある施設の中から、「満足した、良かった」施設を 3 つまで選択。利用経験者数が 80 人以上の施設を対象に集計。
調査時期：2023 年 5 月 1 日（月）～2023 年 5 月 8 日（月）
調査対象：45 都府県在住 20 代～50 代男女／有効回答数：3,748 人

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■ 『じゃらん』 全国道の駅グランプリ 2023：トップ5を紹介

1位：道の駅 川場田園プラザ【群馬県川場村】

“1日まるごと楽しめる！遊べる食べられる道の駅”がコンセプト。武尊山の麓に広がる自然豊かな川場村にあり、広い敷地内には、農産物がそろそろ直売所や地元の新鮮食材を使ったレストランだけでなく、オリジナルのベーカリー、チーズ工房、ビール工房も備えるなど、グルメの宝庫！ビール片手に広場でのんびり過ごすのもよし、プレイゾーンの遊具でたっぷり遊ぶのもよし、子どもから大人まで1日楽しめるスポットになっている。



2位：あ・ら・伊達な道の駅【宮城県大崎市】

地元の特産品や農家直送の新鮮野菜、パンからお惣菜まで東北屈指の品ぞろえを誇る道の駅。昔ながらの定番商品から最新の人気商品まで幅広く、年間300万人以上が訪れる。さらに、ロイズの常設店もあり本州で唯一ロイズのソフトクリームを提供している。伊達ちゃん kitchen では、季節の野菜を取り入れた定食や自家製の肉厚チャーシューが自慢の伊達ちゃんラーメンの人气が高い。



3位：道の駅富士川楽座【静岡県富士市】

目の前に広がる富士山の絶景が自慢の道の駅で、館内の至るところから富士山の眺望が楽しめる。一般道はもちろん、大観覧車が目印の東名高速道路の富士川SA（上）と直結しているのでアクセスも抜群。静岡のお土産やグルメに加え、最新鋭の星空投影機を常設したプラネタリウムや科学体験館のほか、ストリートピアノにフォトスポットなど遊びや体験も充実。見て・食べて・遊んで楽しい複合型道の駅。



4位：道の駅しちのへ【青森県上北郡】

七戸町自慢の銘菓や地酒、特産物など県内屈指の商品数を取りそろえる道の駅。1カ月の最高売上が約1,000杯を誇る人気の「馬肉ラーメン」は、馬骨でじっくり出汁をとったコクのあるほんのり甘辛い味噌味がクセになるおいしさ。かつて馬産地として栄え、馬とは縁が深いことから、2頭のダービー優勝馬の銅像も立っている。そのほか、美術館を併設するなど見どころたっぷり。



5位：道の駅米沢【山形県米沢市】

2018年4月にオープンした道の駅。東北中央自動車道の米沢中央インターチェンジからもほど近くアクセスは便利。全国区で知られるブランド牛・米沢牛を部位ごとに食べ比べできるステーキなど、多彩なオリジナルメニューを比較的リーズナブルに味わえるのも魅力。さらにフルーツ王国・山形県産のりんごを使用したオリジナルアップルパイなどご当地グルメを思う存分堪能できる。



■『じゃらん』統括編集長 長田 佳子コメント

行動制限が徐々に緩和された1年を経て、高速道路に直結・隣接した道の駅や、観光地から少し距離がある道の駅も上位にランクインする結果となりました。地域ならではの特産物やグルメはもちろん、温泉などの付帯施設の充実やそこでしかできない体験など、まるでテーマパークのような個性豊かな道の駅も多く、道の駅自体が目的地となっています。さらに近年ではホテルと掛け合わせ、道の駅をハブに地域の魅力を巡る、新たな旅の拠点としても注目されています。ドライブ途中の立ち寄りだけではない、新たな道の駅の魅力をぜひチェックしてみてください。



※紹介している内容は2023年8月1日時点の情報です

※本ランキングをご紹介いただく際は、必ず下記クレジットを記載してください

「じゃらん 全国道の駅グランプリ 2023」

※おでかけの際には、ホームページなどで最新の情報をご確認ください

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>